

## 株式情報

(2025年3月31日現在)

### 株式の状況

発行可能株式の総数	25,224,000株
発行済株式の総数	6,306,000株
株主の総数	3,593名

### 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
公告の方法	電子公告により行います。 ただし、やむを得ない事由により、 電子公告によることができない場合は、 日本経済新聞に掲載する方法により行います。

### 株式所有者別状況



個人・その他	3,471名 2,423千株 (38.4%)
その他法人	112名 2,689千株 (42.7%)
金融機関	10名 1,193千株 (18.9%)

#### 〈ご注意〉

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

より詳細な情報は弊社WEBサイトをご覧ください。

<https://www.yamau-holdings.co.jp/>

ヤマウホールディングス

検索



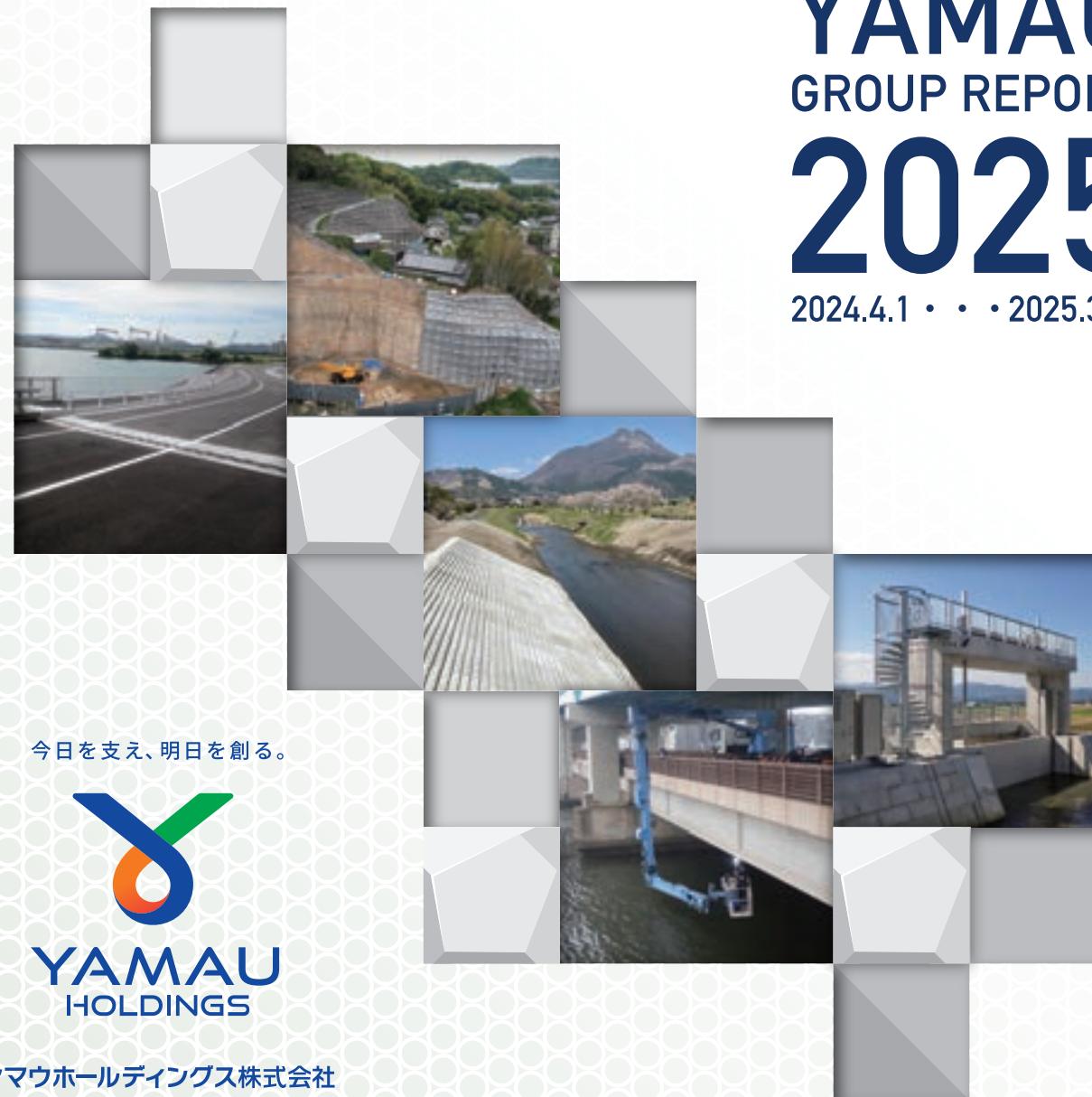
〒810-0073  
福岡県福岡市中央区舞鶴3丁目2番1号  
TEL : 092-718-2260 FAX : 092-718-2261



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。

# YAMAU GROUP REPORT 2025

2024.4.1・・・2025.3.31



ヤマウホールディングス株式会社  
証券コード：5284

## 株主の皆様へ

### ヤマウグループ長期VISION2035の実現に向けた1st Stage

#### 「中期経営計画 Plan C<sup>3</sup> ～変革と創造への挑戦～」



代表取締役社長  
有田 徹也

株主の皆様には格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。  
当社グループでは、2021年4月に「ヤマウホールディングス株式会社」を持株会社とする持株会社体制へと移行し、2024年4月に2035年を目標年度とする「ヤマウグループ長期VISION2035」を策定しました。そして、長期ビジョンの実現に向けた1st Stageとして2024年4月から2027年3月を計画期間とする「中期経営計画Plan C<sup>3</sup>」をスタートさせました。「中期経営計画Plan C<sup>3</sup>」は、「変革と創造への挑戦」期と位置付け、グループの構造改革に着手すると共に、既存事業領域の底固めと新たな収益の柱創出へ向けた種蒔きと体制づくりを推進し、更なる業容の拡大に取り組んでおります。

「中期経営計画Plan C<sup>3</sup>」1年目となる第68期は、高騰する資材・原材料・物流費等の販売・受注価格への転嫁や、グループ全体で取り組んでおります受注・販売体制の強化及び製造原価・一般管理費の削減等により親会社株主に帰属する当期純利益が2,408百万円となりました。

また当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策として位置付けております。更なる株主還元の充実を図るべく、連結配当性向30%程度を目安に業績に応じた配当を実施することを基本方針としております。この方針に基づき、当期の1株当たり配当金は119円とさせていただきます。

最後に、株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

## ヤマウグループ長期VISION2035について

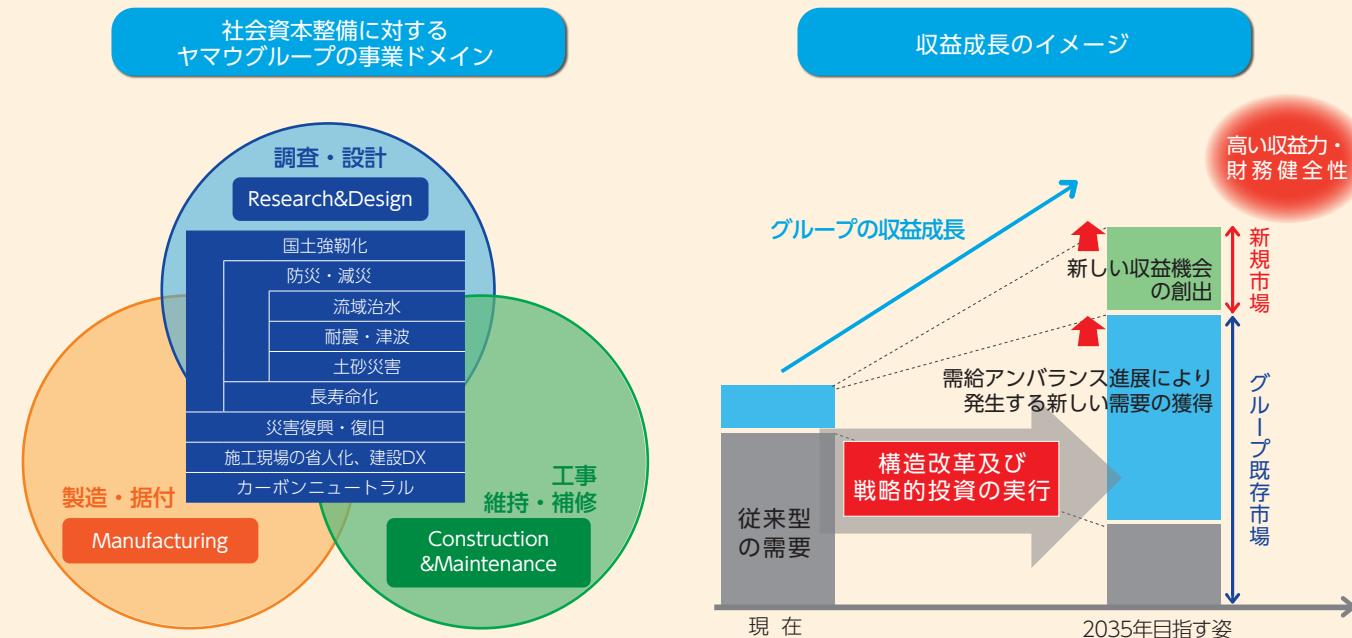
需給アンバランスの拡大により従来型の需要が縮小する中で、抜本的な構造改革と将来へ向けた戦略的投資を執行、グループの収益成長を実現し、高い収益力と財務健全性を確保することを目指します。

「ヤマウグループ長期VISION2035」では、アンバランス社会の解消をグループのミッションとして捉え、グループのパーパスを再定義しました。パーパスを起点とし、目標年度である2035年に向けて、人材不足時代を勝ち抜く抜本的な構造改革と、需給のアンバランスから生じる新たな事業機会獲得を進めて参ります。それにより、高い財務健全性を維持しつつ、人的資本経営の推進、製造・施工プロセスの機械化・省人化、新製品・工法の開発へ向けた戦略的投資を執行し、更なる収益成長を実現します。

### ヤマウホールディングスのパーパス（存在意義）

インフラ整備の総合ソリューションパートナーとして、  
サステナブルで安心・安全な社会の実現に貢献する。

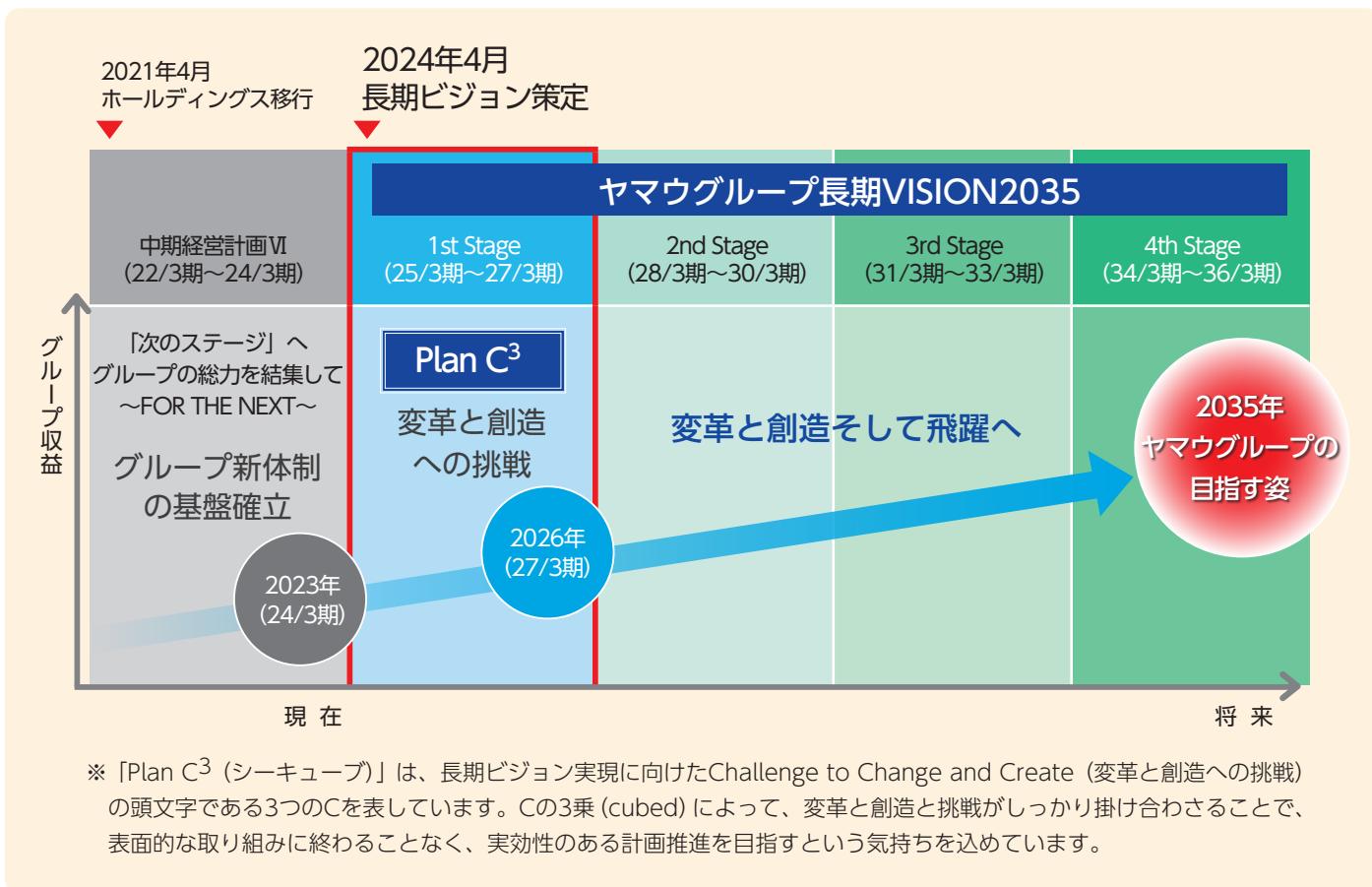
### 【ヤマウホールディングスが目指す姿(目標年度2035年)】



▶ 「調査・設計」、「製造・据付施工」、「工事・維持・補修」の3分野をヤマウグループの事業ドメインと致します。

## 中期経営計画 Plan C<sup>3</sup> (シーキューブ) について

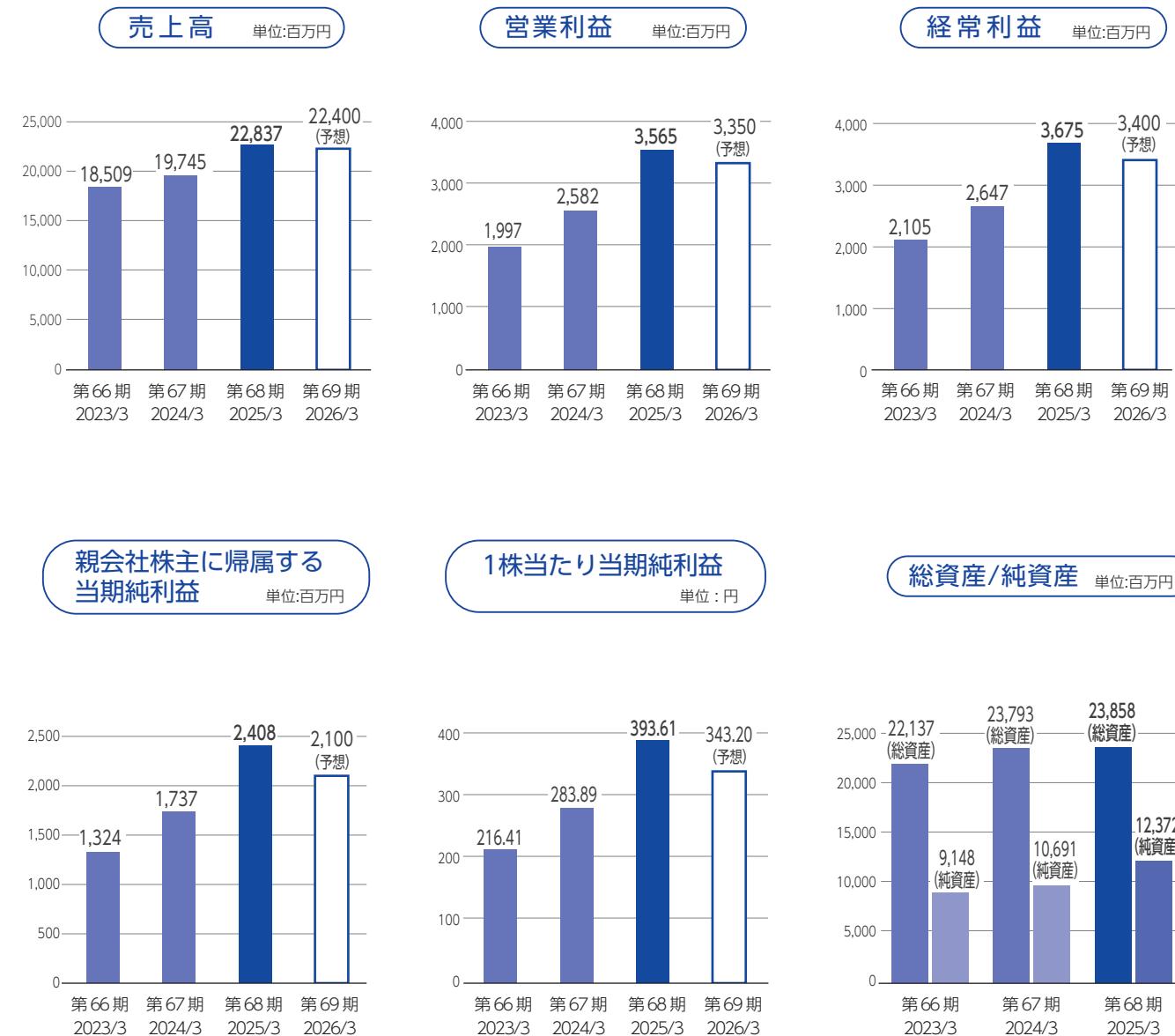
2024年4月からの3ヶ年中期経営計画「Plan C<sup>3</sup>」は、長期ビジョンの実現に向けた1st Stageとして「変革と創造への挑戦」期と位置付け、将来目線に立ったグループの構造改革と成長戦略に着手致します。



### 【2027年3月期 定量目標】

連結売上高	連結営業利益	連結営業利益率	ROIC
<b>220億円</b>	<b>27.5億円</b>	<b>12.5%</b>	<b>10%以上</b>

## ■ 主要な連結経営指標



## ■ 当期の営業概況

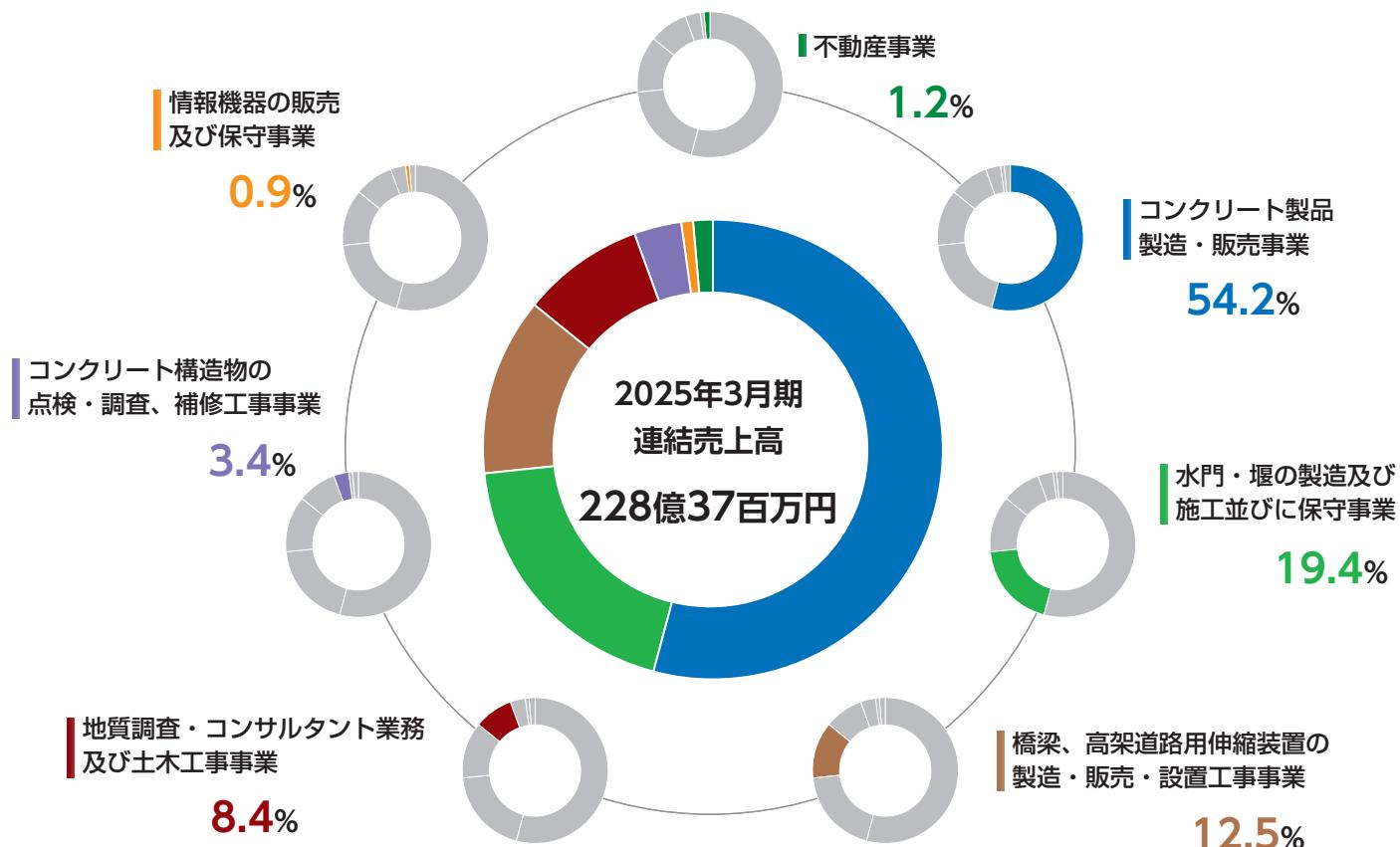
### ● 当期の営業概況

当社グループの主要市場である九州の経済については、国が進める防災・減災、国土強靱化のための予算が配分される一方で、中・長期的には公共投資の縮減により漸減する方向であることが予想されます。また、先行きが見通せない資材・原材料・エネルギー価格等の高騰による影響もあり、予断を許さない状況であります。

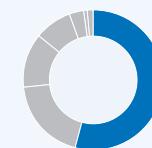
このような経営環境下で当社グループでは、2035年を目標とする「ヤマウグループ長期VISION2035」と2024年4月から2027年3月までを計画期間とする「中期経営計画 Plan C<sup>3</sup>」を

策定いたしました。長期ビジョンの実現に向けた1st Stageである「Plan C<sup>3</sup>」を「変革と創造への挑戦」期と位置付け、将来目線に立ったグループの構造改革と成長戦略に取り組んでおります。

当連結会計年度の業績は、売上高は228億37百万円（前年同期比15.7%増）、営業利益が35億65百万円（前年同期比38.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益が24億8百万円（前年同期比38.6%増）となりました。



## セグメント別営業の状況



### コンクリート製品製造・販売事業

54.2% (売上高構成比)

● 売上高

● セグメント利益



八山橋護岸工事：cv柔



コンクリート製品製造・販売事業の売上は、土木製品、景観製品、レジンコンクリート製品の販売によるものであります。当連結会計年度においては、公共投資が耐震、長寿命化、老朽化対策などの既存インフラの維持管理や防災・減災対策へシフトしていくなか、インフラ整備工事への対応や、高騰する資材・原材料・物流費等の販売価格への転嫁並びに製造原価、一般管理費の削減等に取り組んで参りました。

その結果、当連結会計年度においては、コンクリート製品製造・販売事業の売上高は、大型案件の出荷増や販売価格への転嫁が進んだことなどにより126億20百万円（前年同期比33.8%増）、セグメント利益（営業利益）は25億16百万円（前年同期比82.2%増）となりました。

### ■ コンクリート製品のご紹介

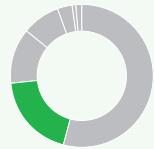
#### 防災・減災関連製品

災害復旧、インフラ老朽化対策等の多種多様な要望に対応できる製品を開発・提案し、国策である防災・減災、国土強靱化に貢献して参ります。



#### 雨水貯留槽「アクアポンド」シリーズ

市街地等で公園、駐車場等の地下に設置して降雨を一時的に貯留し、下流河川等への降水負担を軽減する地下埋設型のプレキャスト雨水貯留槽です。



### 水門・堰の製造及び施工並びに保守事業

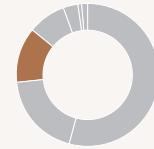
**19.4%** (売上高構成比) 売上高 **44億23**百万円 セグメント利益 **5億51**百万円  
前年同期比**19.7%**増 前年同期比**51.9%**増



水門閘門更新工事

水門・堰の製造及び施工並びに保守事業の売上は、水門、除塵機、水管橋等鋼構造物の製造、施工並びにそれらの保守によるものであります。

当連結会計年度においては、水門・堰の製造及び施工並びに保守事業の業績は、進行基準対応や原価回収基準対応の期末越え（2024年3月末）案件の増加に加え、当期受注も堅調に推移したこと等により、売上高は44億23百万円（前年同期比19.7%増）、セグメント利益（営業利益）は5億51百万円（前年同期比51.9%増）となりました。



### 橋梁、高架道路用伸縮装置の製造・販売・設置工事業

**12.5%** (売上高構成比) 売上高 **28億54**百万円 セグメント利益 **1億23**百万円  
前年同期比**9.4%**減 前年同期比**46.2%**減



スーパーガイトップジョイント

橋梁、高架道路用伸縮装置の製造・販売・設置工事業の売上は、主に橋梁、高架道路用伸縮装置の製造・販売・設置工事によるものであります。

当連結会計年度においては、製品販売や伸縮装置の設置工事において前年度のような特需がなかったことにより、売上高は28億54百万円（前年同期比9.4%減）、のれん償却後のセグメント利益（営業利益）は1億23百万円（前年同期比46.2%減）となりました。



### 地質調査・コンサルタント業務及び土木工事業

**8.4%** (売上高構成比)

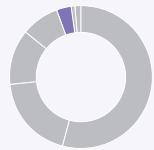


斜面対策工事（アンカー工）

売上高 **19億7**百万円  
前年同期比**15.0%**減  
セグメント利益 **1億9**百万円  
前年同期比**57.8%**減

地質調査・コンサルタント業務及び土木工事業の売上は、地質調査及び地すべり対策工事並びに測量・設計業務によるものであります。

当連結会計年度においては、地質調査・コンサルタント業務及び土木工事業の業績は、前年度において大口受注のJV土木工事が完工したこと等により、売上高は、19億7百万円（前年同期比15.0%減）、セグメント利益（営業利益）は、1億9百万円（前年同期比57.8%減）となりました。



### コンクリート構造物の点検・調査、補修工事業

**3.4%** (売上高構成比)



水管橋橋梁点検

売上高 **7億80**百万円  
前年同期比**26.0%**減  
セグメント利益 **1億2**百万円  
前年同期比**32.1%**減

コンクリート構造物の点検・調査、補修工事業の売上は、橋梁、トンネル等コンクリート構造物の点検・調査業務の請負、補修工事・補強設計業務の請負によるものであります。

当連結会計年度においては、コンクリート構造物の点検・調査、補修工事業の売上高は、期末越え（2024年3月末）受注案件の減少もあり7億80百万円（前年同期比26.0%減）、セグメント利益（営業利益）は1億2百万円（前年同期比32.1%減）となりました。



### 情報機器の販売及び保守事業

**0.9%** (売上高構成比)

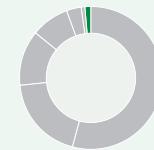


鍵管理機

売上高 **2億10**百万円  
前年同期比**26.3%**増  
セグメント利益 **42**百万円  
前年同期比**19.7%**増

情報機器の販売及び保守事業の売上は、主に金融機関向け業務処理支援機器及びその周辺機器の販売並びにそれらの保守事業によるものであります。

当連結会計年度においては、情報機器の販売及び保守事業の売上高は2億10百万円（前年同期比26.3%増）、セグメント利益（営業利益）は42百万円（前年同期比19.7%増）となりました。



### 不動産事業

**1.2%** (売上高構成比)



ヤマウビル

売上高 **2億76**百万円  
前年同期比**0.1%**増  
セグメント利益 **1億21**百万円  
前年同期比**25.7%**減

不動産事業の売上は、主に不動産の賃貸によるものであります。

当連結会計年度においては、不動産事業の売上高は2億76百万円（前年同期比0.1%増）、セグメント利益（営業利益）は1億21百万円（前年同期比25.7%減）となりました。

# 会社情報 (2025年6月26日現在)

## 会社概要

商号	ヤマウホールディングス株式会社
本社	福岡市中央区舞鶴3丁目2番1号
設立	1958年(昭和33年)2月
資本金	8億円
代表者	代表取締役社長 有田 徹也
従業員(連結)	806名(2025年3月31日現在)

## 会社役員

代表取締役社長	有田 徹也
取締役	徳安 正範
取締役	倉智 清敬
取締役(社外)	太田 一郎
監査等委員である取締役(常勤)	一瀬 泰之
監査等委員である取締役(社外)	櫻井 文夫
監査等委員である取締役(社外)	南谷 朝子

## グループカンパニー

(株) ヤマウ	コンクリート製品製造・販売事業 コンクリート構造物の点検・調査、補修工事事業
開成工業(株)	水門・堰の製造及び施工並びに保守事業
大栄開発(株)	地質調査・コンサルタント業務及び土木工事事業
中外道路(株)	橋梁、高架道路用伸縮装置の製造・販売・設置工事事業
メック(株)	コンクリート構造物の点検・調査、補修工事事業
光洋システム機器(株)	情報機器の販売及び保守事業
大分フジ(株)	コンクリート製品製造・販売事業
(株)熊本ヤマウ	コンクリート製品製造・販売事業

## 拠点・グループカンパニー

